

キャンパスライフ健康支援センター年報

令和3年度

徳島大学キャンパスライフ健康支援センター

キャンパスライフ健康支援センター年報

目次

巻頭言	3
キャンパスライフ健康支援センター長 井崎ゆみ子	
I.保健管理部門	
1. 診療・健康相談日程表	4
2. 学生定期健康診断	5
(1) 学生定期健康診断の概要	
(2) 学生定期健康診断受診状況	
(3) 歯科検診受診状況	
(4) 定期健康診断後の追加健診および事後指導	
3. 学生特別健康診断	14
令和3年度受診状況（放射線業務従事者）	
4. 職員定期健康診断（事後措置）	15
令和3年度事後措置件数	
5. 職員特殊健康診断	16
令和3年度受診状況	
6. 職員特定保健指導	17
特定保健指導の概要と令和3年度実施状況	
7. 感染症対策	19
①B型肝炎予防対策（学生）	
②インフルエンザワクチン接種状況	
8. 学内行事での救護活動	21
令和3年度の救護活動	
9. 産業保健活動	22
産業保健活動の概要	
10. 常三島地区利用状況	23
(1) 学生の学部別利用状況	
(2) 学生の月別利用状況	
(3) 職員の利用状況	

1 1. 蔵本地区利用状況	25
(1) 学生の学部別利用状況	
(2) 学生の月別利用状況	
(3) 職員の利用状況	
1 2. 学生メンタルヘルス関連	26
(1) こころの相談室受診状況	
(2) 新入生メンタルヘルス健診実施状況	
1 3. 新型コロナ感染症相談対応	29
1 4. 学生健康診断証明書発行状況	33
1 5. 健康教室	35
1 6. 令和3年度年間主要行事	36
Ⅱ.総合相談部門	
1. 利用状況	38
(1) 学生相談利用状況	
(2) 職員相談利用状況	
2. 活動報告	40
令和3年度活動報告	
Ⅲ.アクセシビリティ支援部門	
1. 利用状況	42
(1) 学生相談利用状況	
(2) 支援学生の育成	
2. 活動報告	44
令和3年度活動報告	
Ⅳ.キャンパスライフ健康支援センター活動報告	45
巻末言	46
アクセシビリティ支援部門 部門長 住谷さつき	

巻頭言

コロナ禍が続いた令和3年度は、パンデミックとなって3年目に入ったことから蓄積したCOVID-19感染症の知見や感染対策のノウハウを踏まえて、保健管理業務、相談業務、修学支援業務を実践する日々であったかと思います。

6月～8月に実施したワクチンの大学拠点接種では、保健管理部門が中心となり、事務部の多くの方々、病院、医歯薬学研究部の医師看護師の方々の協働、協力を得て、本学学生教職員の他、他大学・学校・事業所の方々への新型コロナワクチンの接種を安全に実施することができました。ご協力を頂いた皆様に厚く御礼申し上げます。

10月には当番大学として国立大学保健管理施設協議会総会をオンラインで開催しました。学生支援課の皆さまには多大なご尽力を頂きました。ここでも喫緊の議題として新型コロナウイルス感染症流行下での学生生活、学生の心身の健康支援が議論され、全国の大学保健管理施設からの情報の実践や対応などからご教示いただくことも多く、組織的なネットワークの大切さもとりわけ実感いたしました。

令和3年度も、学生のメンタルヘルス不調に関する診療や悩み・不安の相談、支援を要する発達障害や精神障害の学生の相談などそれぞれの部門に多くの相談が寄せられ、教職員一丸となって対応し、連携を行っています。総合相談部門では、タイムリーに教務システムでの相談の呼びかけや、学生がアクセスしやすいFormsでの相談申し込みを開始し、潜在していた学生の相談ニーズに応えられるよう、取り組みを始めました。アクセシビリティ支援部門では、アクセシビリティリーダーという資格をもった、障がい学生を支援する、支援学生の養成を年々着実に進めています。

職員の健康に関しては過労や緊張を強いられる環境でのストレスを背景にした心身の疲労、また、コロナ禍での生活習慣の変化も健康への影響が懸念されています。引き続き職員への健康支援にも取り組んでまいります。

最後になりましたが、キャンパスライフ健康支援センターの活動報告をお届けするにあたって、平素より当センターの活動にご理解、ご協力頂いている徳島大学の各部局の教職員の方々に厚く御礼申し上げます。当センターの活動へのご意見、ご感想をお寄せいただければ幸いです。

令和4年9月
センター長 井崎ゆみ子

I.保健管理部門

1. 診療・健康相談日程表

常三島地区、蔵本地区ともに8時30分から17時15分までオープンしている。

常三島地区

	月	火	水	木	金	
内科			○	○		
メンタルヘルス	○	○			○	予約制、月曜は午後のみ
健康相談	○	○	○	○	○	
外傷処置	○	○	○	○	○	

担当スタッフ

井崎 ゆみ子 (医師、メンタルヘルス担当、常三島保健管理部門診療所長)
曾我部 正弘 (医師、内科担当)
小山 壱也 (医師、内科担当 病院特任助教)
早渕 純子 (保健師)
西尾 よしみ (看護師)
武田 早苗 (臨床検査技師)
尾崎 理恵 (看護師)

蔵本地区

	月	火	水	木	金	
内科	○				○	
メンタルヘルス			○		○	予約制、水・金とも午後のみ
健康相談	○	○	○	○	○	
外傷処置	○	○	○	○	○	

担当スタッフ

曾我部 正弘 (医師、内科担当、蔵本保健管理部門診療所長)
井崎 ゆみ子 (医師、メンタルヘルス担当)
小山 壱也 (医師、内科担当 病院特任助教)
枝川 令音 (医師、メンタルヘルス担当、病院特任助教)
横山 小百合 (看護師)

2. 学生定期健康診断

(1) 学生定期健康診断の概要

【実施項目】

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	M1	M2	D1	D2	D3	D4
身長・体重	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
血圧	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
尿検査	●											
問診票提出	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
内科診察	△	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
胸部X線間接撮影	●	◎	○	▲	▲	▲						
精神健康調査	●											

● 印は全員該当 ○印は栄養学科・保健学科のみ

◎印は総合科学部「介護体験」実習生

▲医学科・薬学部

△追加健診対象者のみ

令和2年度は新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言等の影響を受け、尿検査及び問診票の提出による健診実施であったが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の対策を講じて、新入生を除いた在校生全員に対して対面診察による健診を例年通り実施した。学部の新入生健診については入学後の間もない時期で、感染拡大地域を含む全国各地の新入生が対象となることから、学内での感染拡大を鑑み、令和2年度と同様に、尿検査及び問診票の提出による健診を実施し、異常所見が疑われる新入生に対して身体計測、血圧測定、内科診察の対面による追加健診を後日実施した。

【実施時期と体制】

実施時期は学部新入生では4月初旬の5日間を「尿」「問診票」の提出期間とし、これらで異常所見が疑われた新入生に対して10月の3日間の予約制で追加健診を実施した。また「胸部X線撮影」については7～12月の13日間の予約制で実施した。新入生を除いた在在学生については、対面診察による健診を予約制で4～6月、9月の22日間で実施した。秋季入学生対象の健診は12月上旬に常三島地区で1日間で実施した。

春季定期健診については保健管理部門スタッフ、臨時看護スタッフ2名、病院医師2～3名及び1日当たり学務・学部等の事務職スタッフ2～4名で実施した。追加健診は保健管理部門スタッフで実施した。

【実施結果の概要】

令和3年度の学部新入生の健診受診率は87.1%で、令和2年度の89.4%と大きな差はなかったが、新入生を含む全学部生、前期課程大学院生、後期課程大学院生、秋季入学生を受診率はそれぞれ56.3%（R2年：70.8%）、61.8%（R2年：72.0%）、15.3%（R2年：20.9%）、80.0%（R2年：51.4%）であり、秋季入学生を除いた受診率は令和2年度と比べ低下した。この結果は、一見すると受診率が低下したように捉えられるが、令和2年度の大半の健診は、新型コロナウイルス感染症を鑑み対面診察を伴わない健診の受診率である。それに対して、令和3年度の健診は新型コロナウイルス感染症による入校制限のある中で感染対策を講じて実施した対面診察を伴う健診であったことから健診内容に加え、対面診察を伴う健診受診率は飛躍的に改善した。今後は新型コロナウイルス感染症による入校制限等が起きても更なる感染症対策を講じたうえで、広報活動等も活用して対面診察による健診受診率の向上に努めていく必要がある。

(2) 学生定期健康診断受診状況

定期健康診断（春季）

〈学部生〉

		学年						
		1	2	3	4	5	6	計
総合科学	学生数	175	182	191	207			755
	受診数	172	60	83	120			435
	%	98.3	33.0	43.5	58.0			57.6
医学	学生数	310	317	288	303	121	121	1460
	受診数	289	195	220	266	110	115	1195
	%	93.2	61.5	76.4	87.8	90.9	95.0	81.8
歯学	学生数	60	53	57	60	38	43	311
	受診数	52	48	51	41	38	41	271
	%	86.7	90.6	89.5	68.3	100	95.3	87.1
薬学	学生数	89	83	89	79	40	44	424
	受診数	84	66	47	53	38	44	332
	%	94.4	79.5	52.8	67.1	95.0	100	78.3
工学	昼間	学生数		1	8	19		28
		受診数		0	0	2		2
		%		0.0	0.0	10.5		7.1
	夜間主	学生数			1	6		7
		受診数			0	2		2
		%			0.0	33.3		28.6
理工学	昼間	学生数	613	564	600	584		2361
		受診数	506	110	84	173		873
		%	82.5	19.5	14.0	29.6		37.0
	夜間主	学生数	53	49	55	47		204
		受診数	42	7	3	20		72
		%	79.2	14.3	5.5	42.6		35.3
生物資源 産業学	学生数	108	100	114	95		417	
	受診数	81	23	24	51		179	
	%	75.0	23.0	21.1	53.7		42.9	
計	学生数	1408	1349	1403	1400	199	208	5967
	受診数	1226	509	512	728	186	200	3361
	%	87.1	37.7	36.5	52.0	93.5	96.2	56.3
参)令和2年度	%	89.4	67.8	57.8	66.1	71.0	89.1	70.8

*学部新入生は問診票提出数を、その他の学年は内科受診をもとに算出

〈大学院生：博士前期課程及び修士課程〉

		学年		
		1	2	計
総合科学教育部	学生数	/	7	7
	受診数		5	5
	%		71.4	71.4
医科学教育部 (修士課程)	学生数	10	6	16
	受診数	6	2	8
	%	60.0	33.3	50.0
栄養生命学教育部	学生数	34	25	59
	受診数	30	17	47
	%	88.2	68.0	79.7
保健科学教育部	学生数	26	27	53
	受診数	21	18	39
	%	80.8	66.7	73.6
口腔科学教育部 口腔保健学専攻	学生数	3	2	5
	受診数	2	1	3
	%	67	50.0	60.0
薬科学教育部創薬科学専攻	学生数	37	43	80
	受診数	26	29	55
	%	70.3	67.4	68.8
先端技術科学教育部	学生数	/	17	17
	受診数		6	6
	%		35.3	35.3
創成科学研究科	学生数	375	374	749
	受診数	192	254	446
	%	51.2	67.9	59.5
計	学生数	485	501	986
	受診数	277	332	609
	%	57.1	66.3	61.8
参)令和2年度	%	72.7	71.4	72.0

*学部新入生は問診票提出数を、その他の学年は内科受診をもとに算出

〈大学院生：博士後期課程及び博士課程〉

		学年				
		1	2	3	4	計
総合科学教育部	学生数	3	5	5		13
	受診数	0	1	0		1
	%	0.0	20.0	0.0		7.7
医科学教育部 (博士課程)	学生数	39	32	43	101	215
	受診数	2	0	1	1	4
	%	5.1	0.0	2.3	1.0	1.9
栄養生命学教育部	学生数	8	9	17		34
	受診数	2	6	4		12
	%	25.0	66.7	23.5		35.3
保健科学教育部	学生数	8	4	19		31
	受診数	2	0	3		5
	%	25.0	0.0	15.8		16.1
口腔科学教育部口腔 科学専攻 (博士課程)	学生数	16	12	11	27	66
	受診数	7	2	5	5	19
	%	43.8	16.7	45.5	18.5	28.8
口腔科学教育部 口腔保健学専攻	学生数	4	1	7		12
	受診数	1	0	0		1
	%	25.0	0.0	0.0		8.3
薬科学教育部創薬科 学専攻	学生数	11	11	16		38
	受診数	5	9	7		21
	%	45.5	81.8	43.8		55.3
薬科学教育部薬学専攻 (博士課程)	学生数	3	1	1	6	11
	受診数	2	1	1	1	5
	%	66.7	100	100	16.7	45.5
先端技術科学教育部	学生数	18	26	51		95
	受診数	3	5	3		11
	%	16.7	19.2	5.9		11.6
計	学生数	110	101	170	134	515
	受診数	24	24	24	7	79
	%	21.8	23.8	14.1	5.2	15.3
参)令和2年度	%	37.1	23.1	21.7	6.5	20.9

*学部新入生は問診票提出数を、その他の学年は内科受診をもとに算出

秋季入学生健康診断

		留学生	日本人	合計
総合科学部 総合科学教育部	学生数	/	/	0
	受診数	/	/	0
	%	/	/	0.0
医学部 栄養生命科学教育部 医科学教育部	学生数	3	2	5
	受診数	3	1	4
	%	100.0	0.0	80.0
歯学部 口腔科学教育部	学生数	1	/	1
	受診数	0	/	0
	%	0.0	/	0.0
薬学部 薬科学教育部	学生数	/	1	1
	受診数	/	1	1
	%	/	100.0	100.0
先端技術科学教育部	学生数	4	/	4
	受診数	4	/	4
	%	100.0	/	100.0
理工学部	学生数	1	/	1
	受診数	1	/	1
	%	100.0	/	100.0
生物資源産業学部	学生数	/	/	0
	受診数	/	/	0
	%	/	/	0.0
創成科学研究科	学生数	1	2	3
	受診数	1	1	2
	%	100.0	50.0	66.7
高等教育研究 センター	学生数	/	/	0
	受診数	/	/	0
	%	/	/	0.0
合計	学生数	10	5	15
	受診数	9	3	12
	%	90.0	60.0	80.0

社会人入学者18名のうち、今年度現在の職場で健康診断を受診済みもしくは、3月末までに受診予定であることが確認できた17名は対象外とした。

*受診率は「胸部レントゲン撮影」受診者で算出

(3) 歯科検診受診状況

平成19年度より学生定期健康時実施時に、予防歯科の伊藤先生のご協力を得て実施してきた歯科検診については、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症を鑑み、対面式である歯科検診は実施していない。

(4) 定期健康診断後の追加健診および事後指導

健診結果の血圧もしくは尿検査で異常を疑われた場合は、まず再検査を呼びかけ、その結果等をふまえて、10月に追加健診（学部新入生）、9月に事後指導（学部2年生以上と大学院生）を実施した。追加健診の対象基準は、尿検査で蛋白1+以上、潜血1+以上、糖±以上のいずれかに該当する場合もしくは問診の症状等を参考にした。また事後指導は、血圧：収縮期血圧160mmHg以上 and/or 拡張期血圧90mmHg以上、尿検査：蛋白1+以上、潜血1+以上、糖±以上のいずれかに該当する場合、健診時の診察所見、胸部レントゲン検査結果を参考にして対象者を抽出した。令和3年度の血圧および尿検査の再検査受診率は、それぞれ61.5%と53.3%であったが、追加健診の受診率は新型コロナウイルス感染症に伴う入校制限等の影響により実施日が限られたため35.3%と低くなった。そこで追加健診の未受診者や事後指導の対象者全員に文書指導を実施することで生活習慣の改善や医療機関受診勧奨を促した。

* 追加健診および事後指導の対象基準

〈追加健診〉

①尿検査

蛋白	1+ ≤
潜血	1+ ≤
糖	± ≤

②問診

既往歴または治療中	意識消失発作
	呼吸困難
	胸痛
	動悸・息切れ
	咳・痰(1か月以上)
症状から	意識消失発作
	呼吸困難
	胸痛
	動悸・息切れ
	咳・痰(1か月以上)
異常指摘既往から	心雑音
	不整脈
	心電図異常
	甲状腺腫大

〈事後指導〉

血圧	最高	160 ≦
	最低	90 ≦
尿	蛋白	1+ ≦
	潜血	1+ ≦
	尿糖	± ≦
内科		有所見者
XP		要精密・要治療・治療中

再検査

学部	血圧再検査					尿再検査				
	受診数	有所見数	%	再検数	%	受診数	有所見数	%	再検数	%
総合科学	323	4	1.2	1	0.3	261	17	6.5	11	4.2
医学	1052	41	3.9	24	2.3	541	34	6.3	17	3.1
歯学	252	18	7.1	14	5.6	66	4	6.1	2	3.0
薬学	352	18	5.1	11	3.1	128	8	6.3	7	5.5
工学	25	2	8.0	1	4.0	12	2	16.7	1	8.3
理工学	788	18	2.3	12	1.5	750	32	4.3	14	1.9
生物資源産業学	161	3	1.9	1	0.6	118	8	6.8	4	3.4
計	2953	104	3.5	64	2.2	1876	105	5.6	56	3.0

追加健診（学部新入生）

学部	対象者数	呼出数	%	受診数	%	尿		問診		胸部レントゲン	
						対象者数	受診数	対象者数	受診数	対象者数	受診数
総合科学	174	29	16.7	6	20.7	6	2	24	4	0	0
医学	295	37	12.5	20	54.1	16	6	23	14	0	0
歯学	57	7	12.3	4	57.1	3	2	4	2	0	0
薬学	85	9	10.6	8	88.9	5	5	4	3	0	0
工学	0	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
理工学	617	65	10.5	14	21.5	24	7	42	7	2	2
生物資源産業学	107	9	8.4	3	33.3	4	1	5	2	0	0
計	1335	156	11.7	55	35.3	58	23	102	32	2	2

事後指導（学部 2 年生以上と大学院生）

学部	対象者数	該当者数	%	受診数	%	尿		内科		血圧		胸部レントゲン	
						対象者数	受診数	対象者数	受診数	対象者数	受診数	対象者数	受診数
総合科学	643	9	1.4	9	100.0	4	4	5	5	1	1	1	1
医学	1573	30	1.9	30	100.0	7	7	14	14	9	9	2	2
歯学	337	7	2.1	7	100.0	0	0	5	5	2	2	2	2
薬学	468	17	3.6	17	100.0	1	1	12	12	5	5	0	0
工学	147	0	0.0	0									
理工学	2573	19	0.7	19	100.0	4	4	10	10	5	5	2	2
生物資源産業学	392	7	1.8	7	100.0	2	2	5	5	1	1	0	0
計	6133	89	1.5	89	100.0	18	18	51	51	23	23	7	7

*全員文書指導

3. 学生特別健康診断

放射線取扱者に対する健診を例年通り、新規取扱者は6月と11月の年2回、更新者は9月と2月の年2回実施した。健診受診者数は最近5年間では約1,600名となっていたが、令和3年度は1,733名と増加した。学内駅伝大会については令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症のため中止となっていることから心電図検査等の出場者健診は実施されなかった。

学部	令和3年度		計
	放射線取扱者	徳島大学駅伝大会出場者	
総合科学	0		0
医学	1079		1079
歯学	23		23
薬学	204		204
工学	0		0
理工学	398		398
生物資源産業学	29		29
計	1733	0	1733

4. 職員定期健康診断（事後措置）

職員定期健康診断（外注）は、例年通り6月に実施された。定期健康診断後の事後措置は当保健管理部門が担当しており、令和3年度は令和2年度と同様に、対象者に文書や電話による受診勧奨の事後措置を実施した。がん検診については、大腸がんおよび肺がん検診受診者の精密検査の要否判定を実施している。大腸がん検診の受診者数は最近5年間、横ばいで推移している。

＊職員定期健康診断事後指導呼び出し基準

血圧		尿		血液検査								
収縮期	拡張期	蛋白	尿糖	Hb(男)	Hb(女)	血糖	GOT	GPT	γ-GTP	LDL	TG	HbA1c
160 ≤	100 ≤	2+ ≤	2+ ≤	< 11	< 10	200 ≤	100 ≤	100 ≤	200 <	180 ≤	500 ≤	7 ≤

所 属	検査名	血圧	尿	生化学	血球	XP	大腸がん	肺がん
		指導数	指導数	指導数	指導数	指導数	受診数	受診数
事務局		7	9	23	1	2	26	8
病院		13	22	81	35	3	52	2
常三島事務部		3	2	2	5	0	4	0
蔵本事務部		3	1	3	2	0	1	0
大学院医歯薬学研究部		12	9	27	5	1	37	6
大学院社会産業理工学研究部		6	8	26	4	0	25	2
学内共同教育研究		7	10	21	2	0	23	3
研究連携推進機構		1	0	2	1	0	4	1
計		52	61	185	55	6	172	22

5. 職員特殊健康診断

深夜業務、放射線取り扱い業務、有機溶剤取り扱い業務、特定化学物質取り扱い業務およびVDT作業の各従事者に対して、年2回の特殊健康診断を実施している。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、それ以前と比べ実施件数が2,643件と減少したが、令和3年度は3,024件と増加し、新型コロナウイルス感染症以前の件数に戻りつつある。

所 属	健康診断受診数						計
	深夜業務	放射線取り扱い		有機溶剤	特定化学物質	VDT	
		新規	更新				
事務局	0	0	0	0	0	1	1
病院	806	169	1067	54	80	53	2229
常三島事務部	0	0	0	0	0	1	1
蔵本事務部	0	0	0	0	0	0	0
大学院医歯薬学研究部	0	17	336	51	51	34	489
大学院社会産業理工学研究部	0	5	128	16	16	6	171
学内共同教育研究	0	3	70	26	26	8	133
研究連携推進機構	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
計	806	194	1601	147	173	103	3024

令和3年度の積極的支援の対象者は110名、動機づけ支援の対象者は108名であった。新型コロナウイルス感染症による自粛生活が続く中、運動不足、ストレスなどが重なり、いわゆる「コロナ太り」の増加が懸念されることから生活習慣改善のための保健指導の介入は重要である。そこで対象者全員へ生活習慣改善を呼びかける文書指導を実施し、更に新型コロナウイルス感染症の対策を講じたうえで、希望者には昨年度は実施することができなかった対面での保健指導を実施した。また対面を望まない希望者にはメールや電話等を活用した保健指導も実施した。

〈積極支援〉

地区	対象者	初回面接実施者		初回面接後内服開始により対象外となった者 人数	初回面接後、1か月継続支援完了者		1ヶ月後評価が出来た者で効果が見られた者			初回面接実施者中効果の見られた者	
	人数	人数	率		人数	率	評価人数	効果あり	率	人数	率
常三島・新蔵地区	52	2	3.8	0	1	50.0	1	1	100.0	1	50.0
蔵本地区	58	2	3.4	0	1	0.0	1	1	0.0	1	0.0
合計	110	4	3.6	0	2	50.0	2	2	100.0	2	50.0

〈動機づけ支援〉

地区	対象者	初回面接実施者		初回面接から1か月後質問紙提出があった者		1ヶ月後評価が出来た者で効果が見られた者			初回面接実施者中効果の見られた者	
	人数	人数	率	人数	率	評価人数	効果あり	率	人数	率
常三島・新蔵地区	30	3	10.0	0	0.0	0	0	0.0	0	0.0
蔵本地区	78	6	7.7	1	16.7	1	1	100.0	1	16.7
合計	108	9	8.3	1	11.1	1	1	100.0	1	11.1

7. 感染症対策

学生の感染症対策として、病院内の実習における感染症対策に求められる基準に合わせて、学部学科より実施依頼を受け、HBV 感染症対策として、採血およびワクチン接種を行っている。令和 2 年度は新型コロナ感染症を鑑み、当年度の実施を要する学科学年に絞って実施したため、実施数は例年の約半数に減少したが、令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症対策を講じて、例年と同様に実施した。

また徳島大学新型コロナワクチン拠点接種（職域接種を含む）を保健管理部門が運営管理責任および接種医療機関となって令和 3 年 6 月～9 月の間の合計 40 日間で、当大学の学生・教職員・関係者および徳島県内外の本大学以外の学生・教職員に対して、延べ約 1,200 名の教職員の協力により 13,762 回のワクチン接種を誤接種やワクチン廃棄を起こすことなく安全に実施した。この場を借りて関係各所および関係各位に、感謝させていただきます。

<HB ワクチン接種及び採血>

学部	HBワクチン接種	HBs抗原抗体採血・抗体採血
総合科学	51	21
医学	813	290
歯学	168	57
薬学	263	173
工学	0	0
理工学	0	0
生物資源産業学	0	0
計	1295	541

また、学生・職員の希望者に対して、毎年秋頃にインフルエンザの予防接種を実施しているが、令和 3 年度における職員接種数は例年と同様であったが、学生の接種数は季節性インフルエンザの流行の兆しがなかったことや入校制限等のために減少した。

<インフルエンザワクチン接種>

所属		令和3年度
学生	総合科学	73
	医学	418
	歯学	134
	薬学	141
	理工学	134
	生物資源産業学	52
	小計	952
職員	事務局	169
	病院	2
	常三島事務部	42
	蔵本事務部	19
	大学院医歯薬学研究部	29
	大学院社会産業理工学研究部	162
	学内共同教育研究	103
	研究連携推進機構	72
	その他	0
小計	598	
合計		1550

8. 学内行事での救護活動

大学や学部等からの依頼により、学内行事などでの救護に対応している。令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症拡大のため各種イベントが中止となったが、新型コロナウイルス感染症以前にはなかった、大学院入試、編入学入試などの入試の救護に加え、各入試の受験者の健康状態による受験資格の判定の業務依頼も加わり、入試関連の救護件数が令和2年度は40件、令和3年度は50件と急増している。

<学内>

行事内容		常三島		蔵本	
		日数	救護者	日数	救護者
入試関係	大学入試共通テスト	4	5	/	/
	前期試験	2	0	2	0
	後期試験	1	0	1	0
	一般入試追試験	1	0	/	/
	推薦入試等	19	0	20	0
イベント	科学体験フェスティバル	/	/	/	/
	大学祭等	/	/	/	/
	オープンキャンパス	/	/	/	/
合計		27	5	23	0

<学外>

行事内容		日数	救護者	場所
大会	徳島大学駅伝大会	/	/	徳島公園
合計		0	0	

9. 産業保健活動

徳島大学の安全衛生管理体制の中で産業保健活動を実施している。

常三島地区の産業医として井崎、衛生管理者として早渕、蔵本地区産業医として曾我部が選任されている。

衛生管理者（早渕）業務

安全衛生委員会（常三島地区）

衛生管理者巡視（常三島地区）

産業医（井崎）業務

職場巡視（常三島地区）

安全衛生委員会（常三島地区）

長期休業者職場復帰支援（常三島・蔵本・新蔵地区）

ストレスチェック実施と面接指導（常三島・蔵本（病院除く）・新蔵地区）

長時間労働者面接指導（常三島・蔵本（病院除く）・新蔵地区）

産業医（曾我部）業務

職場巡視（蔵本地区）

安全衛生委員会（蔵本地区）

総括安全衛生管理者等による合同パトロール（蔵本地区）

長期休業者職場復帰支援（蔵本地区）

長時間労働者面接指導（蔵本地区）

面接指導・復帰支援件数

職員所属地区		常三島	蔵本	新蔵	計
面接 指導	長時間労働者	7(12)	1(0)	0(1)	8(13)
	ストレスチェック	4(5)	2(0)	1(0)	7(5)
	計	11(17)	3(0)	1(1)	15(18)
職場復帰支援件数		43(39)	30(8)	38(7)	111(54)

0は令和2年度

面接指導件数は昨年度より減少しているが、長期休業者職場復帰支援件数が2倍に増加している。

10. 常三島地区利用状況

学生の内科・外科系の総診療数は、令和2年度は86件で、令和3年度は91件とやや増加したが、令和2年度以前に比べると減少している。これは新型コロナウイルス感染症対策としてのオンライン授業の増加によって学生の入校自体が減ったこと、発熱風邪等の有症状者の登校自粛要請、課外活動自粛等による学内での体調不良・怪我の減少などの影響が大きいものと考えられる。一方、メンタル系の診療に関しては438件と前年度より123件増加した。診療を除く項目別での利用状況は、メールや電話や来所による健康相談に関するものが最も多く、ついで健康診断証明書や診断書や紹介状などの書類に関するものとなっている。なお、相談・問い合わせのうち、新型コロナウイルス感染症に関するものの内訳は、13. 新型コロナウイルス感染症相談対応に示している。

(1) 学生利用状況—学部別

利用区分	診療					書類					相談、問合せ		休養室利用	急患救護	実験用採血	衛生材料	その他	総計
	内科系	外科系	メンタル	婦人科系	診療計	健康診断証明書	健診結果表	紹介状	診断書・意見書	書類計	来所	メール、電話						
総合科学	12	5	106	0	123	158	0	4	10	172	1272	2556	21	8	3	90	0	5568
医学	6	5	14	0	25	318	0	2	0	320								
歯学	0	3	0	0	3	42	0	0	2	44								
薬学	1	0	0	0	1	101	0	0	0	101								
工学	1	0	70	0	71	13	0	0	0	13								
理工学	26	22	172	0	220	360	0	5	4	369								
生物資源産業学	6	4	75	0	85	66	0	2	0	68								
その他	0	0	1	0	1	0	0	1	1	2								
計	52	39	438	0	529	1058	0	14	17	1089								

(2) 学生利用状況—月別

利用区分	診療					書類					相談、問合せ		休養室利用	急患救護	実験用採血	衛生材料	その他	総計
	内科系	外科系	メンタル	婦人科系	診療計	健康診断証明書	健診結果表	紹介状	診断書	書類計	来所	メール、電話						
4月	2	2	31	0	35	161	0	1	1	163	158	408	0	1	0	11	0	776
5月	6	0	27	0	33	262	0	2	1	265	186	260	4	0	0	2	0	750
6月	5	4	44	0	53	228	0	0	1	229	142	360	2	3	0	8	0	797
7月	8	6	42	0	56	188	0	2	6	196	110	208	3	2	0	5	0	580
8月	3	1	35	0	39	36	0	2	1	39	43	169	1	0	0	0	0	291
9月	0	0	33	0	33	48	0	1	0	49	47	68	0	0	0	5	0	202
10月	4	10	38	0	52	52	0	1	1	54	123	314	2	0	0	23	0	568
11月	5	7	36	0	48	19	0	0	0	19	133	192	0	1	3	15	0	411
12月	12	5	36	0	53	19	0	1	0	20	114	172	9	1	0	4	0	373
1月	2	2	38	0	42	7	0	0	0	7	80	111	0	0	0	8	0	248
2月	4	1	36	0	41	13	0	0	3	16	38	113	0	0	0	5	0	213
3月	1	1	42	0	44	25	0	4	3	32	98	181	0	0	0	4	0	359
計	52	39	438	0	529	1058	0	14	17	1089	1272	2556	21	8	3	90	0	5568

(3) 職員利用状況

職員の内科・外科系の総診療数は、令和3年度は37件と前年度より18件増加した。また、メンタル系の診療に関しては45件と前年度より27件増加した。診療を除く項目別の利用状況は、職場復帰支援や関係者のコンサルテーションによる相談に関するものが最も多く、ついで診断書や意見書などの書類に関するものとなっている。

利用区分	診療				相談		書類					休養室利用	急患救護	実験用採血	総計	
	内科系	外科系	メンタル	婦人科系	診療計	職場復帰支援	関係者コンサルテーション	健康診断証明書	健診結果表	紹介状	診断書・意見書					書類計
令和3年度	24	13	17	0	54	84	2	0	0	0	51	51	1	0	21	213

(4) 学生・職員の健康機器利用状況

常三島保健管理部門では、ヘルスチェックルームに体組成計、身長体重計、血圧計、視力計等を設置し、健康管理に役立ててもらおう目的で、来所者が自由に利用できるようにしている。令和2年度以前は、年間約4,000件の利用があったが、令和2年度以降は、新型コロナウイルス感染症による入校制限や学内のBCPレベルの引き上げ等により3密を避けた制限下での利用となったため年間利用数は971件と減少した。

利用区分	令和3年度
4月	1
5月	0
6月	55
7月	107
8月	40
9月	0
10月	175
11月	409
12月	177
1月	6
2月	0
3月	1
計	971

1.1. 蔵本地区利用状況

令和3年度の総利用数は令和2年度以前の新型コロナウイルス感染症のない頃に比べると減少しているが、令和3年度の診療数、休養室利用数は令和2年度と比べ、それぞれ55件、14件と増加に転じた。今後は新型コロナウイルス感染症の状況等にはよるが、これまでより入校制限等が緩和されることになれば利用数は更に増加することが予想される。

(1) 学生利用状況—学部別

利用区分	診療					書類					健康相談		休養室利用	急患救護	実験用採血	機器利用	衛生材料	問合せ、その他	総計
	内科系	外科系	メンタル	婦人科系	診療計	健康診断証明書	健診結果表	紹介状	診断書・意見書	書類計	来所	メール、電話							
総合科学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	48	46	0	0	0	29	9	217	581
医学	33	6	71	4	114			3	3	6			20	9	0				
歯学	3	4	0	0	7			2	0	2			1	0	0				
薬学	7	10	37	1	55			1	10	11			6	1	0				
工学	0	0	0	0	0			0	0	0			0	0	0				
理工	0	0	0	0	0			0	0	0			0	0	0				
生物資源	0	0	0	0	0			0	0	0			0	0	0				
その他	0	0	0	0	0			0	0	0			0	0	0				
計	43	20	108	5	176			6	13	19			27	10	0				

(2) 学生利用状況—月別

利用区分	診療					書類					健康相談		休養室利用	急患救護	実験用採血	機器利用	衛生材料	問合せ、その他	総計
	内科系	外科系	メンタル	婦人科系	診療計	健康診断証明書	健診結果表	紹介状	診断書・意見書	書類計	来所	メール、電話							
4月	4	1	11	0	16	0	0	0	0	0	4	6	4	1	0	0	1	70	102
5月	11	1	6	1	19	0	0	2	0	2	6	4	9	5	0	4	1	36	86
6月	4	3	13	0	20	0	0	1	0	1	4	3	1	1	0	4	1	25	60
7月	12	3	10	0	25	0	0	0	0	0	12	3	3	1	0	5	4	12	65
8月	1	1	8	0	10	0	0	1	0	1	1	6	0	0	0	4	0	5	27
9月	5	1	13	0	19	0	0	0	0	0	2	2	2	0	0	3	0	8	36
10月	2	3	10	1	16	0	0	1	0	1	9	9	3	1	0	3	2	24	68
11月	0	4	9	3	16	0	0	0	0	0	3	3	2	1	0	1	0	10	36
12月	1	2	6	0	9	0	0	0	0	0	1	3	1	0	0	1	0	8	23
1月	2	0	5	0	7	0	0	0	0	0	4	2	1	0	0	1	0	7	22
2月	1	1	6	0	8	0	0	1	0	1	2	4	1	0	0	2	0	7	25
3月	0	0	11	0	11	0	0	0	13	13	0	1	0	0	0	1	0	5	31
計	43	20	108	5	176	0	0	6	13	19	48	46	27	10	0	29	9	217	581

(3) 職員利用状況

職員の利用件数は前年度と比べ約2倍に増加した。

利用区分	診療					相談		書類					健康相談		休養室利用	急患救護	機器利用	衛生材料	問合せ、その他	総計
	内科系	外科系	メンタル	婦人科系	診療計	職場復帰支援	関係者コンサルテーション	健康診断証明書	健診結果表	紹介状	診断書・意見書	書類計	来所	メール、電話						
令和3年度	8	7	3	0	18	27	2	0	0	0	27	27	13	10	3	0	4	2	76	182

1 2. 学生メンタルヘルス関連

(1) こころの相談室受診状況

常三島保健管理部門および蔵本保健室の「こころの相談室」を受診した学生の実数を示す。受診学生の実数については年度による変動があるものの、直近5年間は約60名～80名であり、令和3年度については78名と多めであった。受診件数は令和元年度より引き続き増加が続いており、令和2年度379件から、令和3年度546件と増加した。受診者の診断の内訳をみると、神経症性障害、気分障害が多い傾向は例年同様で、広汎性発達障害の割合は微増している。また、令和3年度も、「その他」の診断がつかないメンタルヘルス相談の利用者が少なかった。

		常三島	蔵本	総計
精神 医学 的診 断	F0 症状性・器質性精神障害	4	0	4
	F1 精神作用物質による精神障害	0	0	0
	F2 統合失調症圏	0	0	0
	F3 気分障害	17	2	19
	F4 神経症性障害	19	9	28
	F5 生理的障害	3	3	6
	F6 パーソナリティ障害	2	1	3
	F8 広汎性発達障害圏	11	2	13
	F9 小児・青年期の行動情緒障害	3	0	3
	その他	0	2	2
計(人数)		59	19	78
計(面接件数)		438	108	546

学部別受診状況

受診者数は理工学部が最も多いが、在籍者数から見ると、生物資源産業学部が1.8%と最も高く、次いで総合科学部が1.4%となっている。

	常三島	蔵本	総計
総合科学部	12	0	12
医学部	4	14	18
歯学部	0	0	0
薬学部	0	5	5
工学部	4	0	4
理工学部	28	0	28
生物資源産業学部	8	0	8
その他	3	0	3
計(人数)	59	19	78

関係者のみの相談利用

学生本人の利用には至っていないが、関係者（保護者や教員）のみが学生について相談利用した数を示している。前年度に利用者が増加しその傾向が続いている。

	常三島	蔵本	総計
関係者のみの相談(保護者・教員)(人数)	2	3	5
面接件数	2	3	5

(2) 新入生メンタルヘルス健診実施状況

平成 20 年度から、新入生の健診時に、自記式の質問紙によるメンタルヘルス健診を実施している。質問紙の回答の結果がカットオフを超えていた者を二次健診対象者として、面接を呼びかけて精神保健指導を行っている。

質問紙は平成 26 年度までは GHQ28 を、27 年度から UPI を使用している。UPI では 60 点満点中「総得点が 30 点を越える者」、「得点にかかわらず自殺念慮が見られる者」を二次健診対象とし、それに満たない 25 点以上の高得点者に対しては希望者に面接を呼びかけている。面接を呼びかける手段は令和 2 年度までは手紙を送っていたが、令和 3 年度からはメールでの呼びかけに変更した。

全体の平均得点は例年同様、二次健診対象者は 8.6% で例年同様あり、ここではコロナ禍の影響は認めなかった。二次健診対象者中の面接数は、過去 5 年間で最も少なかった令和 2 年度の 8% より増加し、26% となった。面接時の状態によって必要と思われる支援や連携を行った。

	学生数	受診者数	受診率 (回収率)	平均得点	二次健診対象者		二次健診結果	
					対象者数	対象者率	面接数	要留意学生数
令和3年度	1335	1248	93%	12.7	107	8.6%	28	16
前年度	1342	1242	93%	12.3	106	8.5%	15	8

13. 新型コロナウイルス感染症相談対応

令和3年度は令和2年度に引き続き、学生・教職員・保護者を対象に新型コロナウイルス感染症に関連した体調不安や心配がある場合に、当部門が窓口となって相談に応じた。令和3年度の相談総件数は306件となり、令和2年度から240件増加した。

<常三島地区>

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
学 生	①本人の体調	対面	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		電話・メール	1	7	1	0	3	2	3	3	1	4	1	1	27
	②本人の精神心理面	対面	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		電話・メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	③ワクチン関連	対面	0	0	4	12	9	0	0	0	0	0	0	0	25
		電話・メール	0	0	45	112	30	4	0	0	0	1	1	1	194
	④感染症・濃厚接触者の相談(2月～)	対面											0	0	0
		電話・メール											7	2	9
	合計	対面	0	0	4	12	9	0	0	0	0	0	0	0	25
		電話・メール	1	7	46	112	33	6	3	3	1	5	9	4	230
総計		1	7	50	124	42	6	3	3	1	5	9	4	255	

教 職 員	①本人の体調	対面	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		電話・メール	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	②本人の精神心理面	対面	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		電話・メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	③ワクチン関連	対面	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	5
		電話・メール	0	0	3	8	1	0	0	0	0	0	0	0	12
	④感染症・濃厚接触者の相談(2月～)	対面											0	1	1
		電話・メール											4	0	4
	合計	対面	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	1	6
		電話・メール	1	0	4	8	2	0	0	0	0	0	4	0	19
総計		1	0	5	12	2	0	0	0	0	0	4	1	25	

保 護 者	①学生の体調	対面	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		電話・メール	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	②学生の精神心理面	対面	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		電話・メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	③ワクチン関連	対面	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
		電話・メール	0	0	2	4	2	0	0	0	0	0	0	0	8
	④感染症・濃厚接触者の相談(2月～)	対面											0	0	0
		電話・メール											0	0	0
	合計	対面	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
		電話・メール	1	0	3	4	2	0	0	0	0	0	0	0	10
総計		1	0	3	4	3	0	0	0	0	0	0	0	11	

総合計		3	7	58	140	47	6	3	3	1	5	13	5	291
-----	--	---	---	----	-----	----	---	---	---	---	---	----	---	-----

<蔵本地区>

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
学 生	①本人の体調	対面	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		電話・メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	②本人の精神心理面	対面	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		電話・メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	③ワクチン関連	対面	0	0	5	6	0	0	0	0	0	1	0	0	12
		電話・メール	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	④感染症・濃厚接触者の相談(2月～)	対面											0	0	0
		電話・メール											0	0	0
	合計	対面	0	0	5	6	0	0	0	0	0	1	0	0	12
		電話・メール	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
総計		0	0	5	6	1	0	0	0	0	1	0	0	13	

教 職 員	①本人の体調	対面	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		電話・メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	②本人の精神心理面	対面	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		電話・メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	③ワクチン関連	対面	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
		電話・メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	④感染症・濃厚接触者の相談(2月～)	対面											0	0	0
		電話・メール											0	0	0
	合計	対面	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
		電話・メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計		0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	

保 護 者	①学生の体調	対面	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		電話・メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	②学生の精神心理面	対面	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		電話・メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	③ワクチン関連	対面	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		電話・メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	④感染症・濃厚接触者の相談(2月～)	対面											0	0	0
		電話・メール											0	0	0
	合計	対面	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		電話・メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

総合計	0	0	5	8	1	0	0	0	0	0	1	0	0	15
-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

大学拠点接種の実施に当たって、ワクチン接種に関する相談状況（前出の表の③に当たる相談）の内訳を以下に示す。

〈常三島地区〉

			6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学生	TEL・メール	症状あり	4	20	8	0	0	0	0	0	0	0
		症状なし	41	92	22	4	0	0	0	1	1	1
	来所	症状あり	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
		症状なし	4	12	7	0	0	0	0	0	0	0
	合計	症状あり	4	20	10	0	0	0	0	0	0	0
		症状なし	45	104	29	4	0	0	0	1	1	1
職員	TEL・メール	症状あり	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0
		症状なし	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0
	来所	症状あり	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0
		症状なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	症状あり	1	11	0	0	0	0	0	0	0	0
		症状なし	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0
その他	TEL・メール	症状あり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		症状なし	1	4	2	0	0	0	0	0	0	0
	来所	症状あり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		症状なし	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	合計	症状あり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		症状なし	1	4	3	0	0	0	0	0	0	0

〈蔵本地区〉

			6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学生	TEL・メール	症状あり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		症状なし	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	来所	症状あり	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0
		症状なし	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0
	合計	症状あり	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0
		症状なし	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0
職員	TEL・メール	症状あり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		症状なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	来所	症状あり	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
		症状なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	症状あり	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
		症状なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	TEL・メール	症状あり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		症状なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	来所	症状あり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		症状なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	症状あり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		症状なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

新型コロナ感染者ケア件数

新型コロナウイルス感染症の本県における感染拡大早期であった令和2年10月より、感染者のメンタルヘルスへの影響が危惧されていたことから、当センターに対し、感染した学生への積極的なメンタルヘルスケアの支援を保健所や大学より求められた。

令和3年度も5月の感染者まで、感染者に対して精神科医師より主に電話による連絡支援を行った（下記）が、さらなる感染拡大に従って、感染に伴うメンタルヘルス上の相談ニーズは高くない傾向が認められたため、6月以後は、所属学部から保健管理部門へ心身の相談ができることの周知に切り替えた。

	4月	5月	6月	計
電話	10	3	1	14
メール	6	0	0	6
その他				0
計（件数）	16	3	1	20
実人数	15	3	1	19

1 4. 学生健康診断証明書

学生の健康診断証明書は、保健管理部門の窓口及び学務部に設置している自動発行機で発行している。令和3年度の総発行数は1,743件となり、令和2年度から1,184件増加した。

保健管理部門発行分

	総合科学	医学	歯学	薬学	工学	理工学	生物資源産業学	合計(枚)
4月	12	85	2	1	2	47	12	161
5月	84	17	4	52	1	86	18	262
6月	21	67	1	23	1	97	18	228
7月	15	89	22	15	3	36	8	188
8月	6	13	3	1	0	10	3	36
9月	6	11	2	1	0	25	3	48
10月	3	9	4	2	5	28	1	52
11月	4	4	0	0	0	8	3	19
12月	0	8	2	0	1	8	0	19
1月	0	1	0	0	0	6	0	7
2月	1	0	0	4	0	8	0	13
3月	6	14	2	2	0	1	0	25
合計	158	318	42	101	13	360	66	1,058

自動発行機発行分

	総合科学	医学	歯学	薬学	工学	理工学	生物資源産業学	合計(枚)
4月	31	39	14	26	0	125	57	292
5月	8	6	0	3	1	19	0	37
6月	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0	0	0
1月	1	10	25	1	0	19	1	57
2月	4	29	9	54	0	34	5	135
3月	32	31	10	4	0	67	20	164
合計	76	115	58	88	1	264	83	685

全発行分

	総合科学	医学	歯学	薬学	工学	理工学	生物資源産業学	合計(枚)
4月	43	124	16	27	2	172	69	453
5月	92	23	4	55	2	105	18	299
6月	21	67	1	23	1	97	18	228
7月	15	89	22	15	3	36	8	188
8月	6	13	3	1	0	10	3	36
9月	6	11	2	1	0	25	3	48
10月	3	9	4	2	5	28	1	52
11月	4	4	0	0	0	8	3	19
12月	0	8	2	0	1	8	0	19
1月	1	11	25	1	0	25	1	64
2月	5	29	9	58	0	42	5	148
3月	38	45	12	6	0	68	20	189
合計	234	433	100	189	14	624	149	1,743

15. 健康教室

学生・教職員の健康増進維持の一環として、令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策を講じて健康教室を開催した。今後も、新型コロナウイルス感染症の状況や学内BCPレベル等をふまえたうえで、積極的に開催したいと考えている。

内容		日程	参加人数	合計
第1回	骨密度	令和3年11月22日 15:00～16:00	7	26
		令和3年11月25日 10:00～11:00	19	
		令和3年11月25日 14:00～16:00		
令和3年度総計				26

16. 年間主要行事

令和3年度は例年の行事に加え、推薦入試、大学院入試、編入学試験などの入試救護及び新型コロナワクチン職域接種（大学拠点接種）1・2回目などを行っている

月	学 生 業 務	職 員 業 務
4	新入生定期健康診断	特殊健診:放射線取り扱い者健康診断(病院診療用)
	在校生定期健康診断	
	HBs抗原抗体検査(麻疹・風疹・水痘・ムンプスを含む)	
	(歯1・口1・看1・3編入・薬1・助・総M1・医2・栄2・放2・検2)	
5	放射線取り扱い者健康診断(新規)	
	在校生定期健康診断	
	HBs抗原抗体検査(麻疹・風疹・水痘・ムンプスを含む)	
	(歯1・口1・看1・3編入・薬1・助・総M1・医2・栄2・放2・検2)	
6	新入生精神健康調査有所見者面接	
	編入学試験救護	
	放射線取り扱い者健康診断(新規)	
	在校生定期健康診断	
	1回目HBsワクチン接種	
	(歯1・口1・看1・3編入・薬1・助・総M1・医2・栄2・放2・検2)	
7	定期健康診断再検査(尿)	
	新入生精神健康調査有所見者面接	
	新型コロナワクチン 職域接種1回目	
	推薦入試救護	
	編入学試験救護	
	大学院入試救護	
8	新型コロナワクチン 職域接種2回目	
	2回目HBsワクチン接種	
	(歯1・口1・看1・3編入・薬1・助・総M1・医2・栄2・放2・検2)	
	定期健康診断有所見者文書指導	
	編入学試験救護	特殊健診:VDT作業従事者健康診断
	大学院入試救護	
9	第51回 中国・四国大学保健管理研究会(山口大学)	
	特殊健診:放射線取り扱い者健康診断(更新)	
	医学科5年対象健診	
10	編入学試験救護	
	私費留学生、社会人入学等救護	
	前期業務整理	
	定期健康診断新入生追加健診	有害業務従事者健康診断(第2回)
11	インフルエンザ予防接種実施(希望者)	
	放射線取り扱い者健康診断(新規)	
	第59回 全国大学保健管理研究会(広島大学)	
	一般社団法人国立大学保健管理施設協議会総会	
12	インフルエンザ予防接種実施(希望者)	
	3回目HBsワクチン接種	特殊健診:有害業務従事者健康診断(第2回)
	(歯1・口1・看1・3編入・薬1・助・総M1・医2・栄2・放2・検2)	特殊健診:深夜業務従事者健康診断
	大学院入試救護	
1	推薦入試救護	
	特殊健診:放射線取り扱い者健康診断(新規)	
	健康教室	
	インフルエンザ予防接種実施(希望者)	
2	秋季入学健康診断	特殊健診:深夜業務従事者健康診断
	定期健康診断新入生胸部撮影	
	在校生経過観察	
	推薦入試救護	
3	大学院入試救護	
	令和4年度学生定期健康診断	特定保健指導
	一般人入試追試	定期健康診断有所見者経過観察
	医療者優先接種学生接種	
3	後期入学試験救護	
	公益社団法人全国大学保健管理協会中国四国地方部会幹事会(書面審議)	
	全国大学保健管理協会中国四国地方部会意見交換会	
	本年度業務整理	

II. 総合相談部門

1. 利用状況

(1) 学生相談利用状況

全体の来談者数は233人となり、前年度の168人の約1.4倍に増加した。「人間関係」と「精神面」の問題の解決を求めて来談する学生の人数が増加したことから、コロナ禍における行動制限の発令や解除等に伴う生活環境の度重なる変化によって人間関係上や個人的なストレスを抱えて悩む学生の来談が増加したことが背景にあると考えられる。

学部においては、「理工学部」の来談者が顕著に多かった。理工学部は、単に理系科目が得意であるという理由で進学してくる学生が多く、そのような学生は専門科目の修学意欲を維持することが困難になりやすい。これらの背景により利用人数が多くなったと考えられる。中でも「精神面」での相談が前年度の6倍に増加したが、これはコロナ禍による生活環境の度重なる変化によるストレスの増大が関係していると推察される。

大学院においては、「創成科学研究科」の来談者が多かった。令和2年4月に設置された「創成科学研究科」は、常三島地区全体の大学院であり、今後さらに利用者が増加することが予想される。

学部	修学・履修	留年・不登校	進路・就職	経済的	人間関係	精神面	健康面	人権	悪質商法	その他	合計
総合科学部	6	8	9		7	12		1			43
医学部	4	3	5		5	9	1		1	2	30
歯学部			1		1	1				1	4
薬学部	5	2			5	6					18
工学部	1		1		2	1					5
理工学部	14	13	7	2	8	12		2	2	1	61
生物資源産業学部	3	2	1		2	8		1			17
不明学部			1		1			2			4
学部合計	33	28	25	2	31	49	1	6	3	4	182
総合科学教育部											0
医科学教育部	1		1		1	1		1			5
栄養生命科学教育部	2					2		2			6
保健科学教育部						2					2
口腔科学教育部					2						2
薬科学教育部	1	1	2		3	1		1			9
先端技術科学教育部		1			1	1					3
創成科学研究科	2	2	5	1	2	9		1		2	24
大学院合計	6	4	8	1	9	16	0	5	0	2	51
合計	39	32	33	3	40	65	1	11	3	6	233

(2) 相談内容別職員相談利用状況

全体の来談者数は31人であり、昨年度の23人より8人増加した。学生相談と同様、コロナ禍における度重なる環境変化によるストレスの増大が背景にあると考えられる。所属別で見ると、「病院」が最も多かった。相談内容別で見ると、「人間関係の問題」と「人権」問題の解決を求めて来談する教職員が最も多かった。この傾向は前年度と変わらない。前年度同様、職場の対人的環境で悩む教職員の利用ニーズが高かったと考えられる。

学部	人間関係	就労環境	雇用条件	職業将来設計	人権	精神面	自分の生活等	家族	その他	合計
総合科学部		1						1		2
医学部	1				1					2
歯学部	2				1					3
薬学部	2				1					3
病院	3				3	1		1		8
共同教育研究施設	1			1	0					2
事務局		1			1	1				3
その他		1			1					2
理工学部						1				1
生物資源産業学部		2				1				3
創成科学研究科	1									1
不明				1						1
合計	10	5	0	2	8	4	0	2	0	31

2. 活動報告

令和3年度

月	対象者	行事	内容
4	学生・教職員・保護者	「キャンパスライフ健康支援センター利用案内」発行	キャンパスライフ健康支援センターの利用案内及び活動内容を周知、保護者宛て徳大広報「とくtalk」2020春号に同封
		新入生(理工学部)オリエンテーション	理工学部を3ブロックにわけて新入生を対象のオリエンテーション(学生時代の悩み・総合相談部門の紹介)を実施(井ノ崎専任教員)
		新入生(総合科学部)オリエンテーション	新入生を対象のオリエンテーション(学生時代の悩み・総合相談部門の紹介)を実施(後藤専任教員)
		新入生(生物資源産業学部)オリエンテーション	新入生を対象のオリエンテーション(学生時代の悩み・総合相談部門の紹介)を実施(井ノ崎専任教員)
		新入生(医学部)オリエンテーション	新入生を対象のオリエンテーション(学生時代の悩み・総合相談部門の紹介)を実施(中村専任教員)
		新入生(歯学部・薬学部)オリエンテーション	新入生対象の入門講座(学生時代の悩みと総合相談部門の紹介)を実施(中村専任教員、後藤専任教員)
	新入生・学生	マルチ商法及びカルト問題の注意喚起のリーフレットを作成・配布	新入生に配布する悪質商法及びカルト問題の注意喚起のリーフレットを作成し、配布
	学生	「ほっと」の会	学生対象のグループ活動を実施(井ノ崎専任教員)
		ほっとカフェ	学生同士の交流を深める茶話会を実施[常三島地区1回](後藤専任教員)
		ゆる〜くやるミニコミュニケーション講座	学生対象のグループ活動を実施(中村専任教員)
	教職員	新任教職員研修会	「人権問題」について講演を実施(中村専任教員)
		病院新規採用者オリエンテーション	「人権問題」について講演を実施(中村専任教員)
専任教員	第10回原宿カウンセリングセンター信田さよ子公開講座(オンライン開催)	後藤専任教員参加	
5	学生	「ほっと」の会	学生対象のグループ活動を実施(井ノ崎専任教員)
		ほっとカフェ	学生同士の交流を深める茶話会を実施[常三島地区2回](後藤専任教員)
		ゆる〜くやるミニコミュニケーション講座	学生対象のグループ活動を実施(中村専任教員)
	専任教員	日本学生相談学会第39回大会(オンライン開催)	後藤専任教員参加
		2021年度KIPP対人関係精神分析セミナー第1回(オンライン開催)	後藤専任教員参加
6	学生	「ほっと」の会	学生対象のグループ活動を実施(井ノ崎専任教員)
		ほっとカフェ	学生同士の交流を深める茶話会を実施[常三島地区2回](後藤専任教員)
		ゆる〜くやるミニコミュニケーション講座	学生対象のグループ活動を実施(中村専任教員)
7	学生	「ほっと」の会	学生対象のグループ活動を実施(井ノ崎専任教員)
		ほっとカフェ	学生同士の交流を深める茶話会を実施[常三島地区2回](後藤専任教員)
		ゆる〜くやるミニコミュニケーション講座	学生対象のグループ活動を実施(中村専任教員)
	専任教員	第20回JSTSS大会(オンライン開催)	中村専任教員参加
8	学生	「ほっと」の会	学生対象のグループ活動を実施(井ノ崎専任教員)
	専任教員	日本行動分析学会第39回年次大会(オンライン開催)	中村専任教員参加
9	教職員	メンタルヘルスマーケティング	保健管理部門と総合相談部門、アクセシビリティ支援部門との情報交換及び事例についてカウンセラー等が意見交換
	学生	ゆる〜くやるミニコミュニケーション講座	学生対象のグループ活動を実施(中村専任教員)
	専任教員	日本心理臨床学会第40回大会(オンライン開催)	後藤専任教員参加
		日本パーソナリティ心理学会第30回大会(オンライン開催)	後藤専任教員参加
専任教員	2021年度KIPP対人関係精神分析セミナー第3回(オンライン開催)	後藤専任教員参加	

月	対象者	行事	内容
10	学生	「ほっと」の会	学生対象のグループ活動を実施(井ノ崎専任教員)
		ほっとカフェ	学生同士の交流を深める茶話会を実施[常三島地区2回](後藤専任教員)
		ゆる〜くやるミニコミュニケーション講座	学生対象のグループ活動を実施(中村専任教員)
	専任教員	2021Trauma Informed School Conference(オンライン開催)	中村専任教員参加
11	学生	「ほっと」の会	学生対象のグループ活動を実施(井ノ崎専任教員)
		ほっとカフェ	学生同士の交流を深める茶話会を実施[常三島地区2回](後藤専任教員)
		ゆる〜くやるミニコミュニケーション講座	学生対象のグループ活動を実施(中村専任教員)
	専任教員	Dialogue International Conference Online(オンライン開催)	後藤専任教員参加
12	学生	「ほっと」の会	学生対象のグループ活動を実施(井ノ崎専任教員)
		ほっとカフェ	学生同士の交流を深める茶話会を実施[常三島地区2回](後藤専任教員)
		ゆる〜くやるミニコミュニケーション講座	学生対象のグループ活動を実施(中村専任教員)
1	学生	「ほっと」の会	学生対象のグループ活動を実施(井ノ崎専任教員)
		ほっとカフェ	学生同士の交流を深める茶話会を実施[常三島地区1回](後藤専任教員)
		ゆる〜くやるミニコミュニケーション講座	学生対象のグループ活動を実施(中村専任教員)
	教職員	メンタルヘルスマーケティング	保健管理部門と総合相談部門, アクセシビリティ支援部門との情報交換及び事例についてカウンセラー等が意見交換
2	学生	ゆる〜くやるミニコミュニケーション講座	学生対象のグループ活動を実施(中村専任教員)
	教職員	2021年度KIPP対人関係精神分析セミナー第7回(オンライン開催)	後藤専任教員参加
3	学生	ゆる〜くやるミニコミュニケーション講座	学生対象のグループ活動を実施(中村専任教員)
	教職員	令和3年度医学部保健学科FD研修会「大学におけるハラスメントの予防と対策」(オンライン開催)	ハラスメントについて理解を深めることをテーマとした講演を実施(井ノ崎専任教員)
		高等教育機関と県との自殺予防対策推進連絡会議(オンライン開催)	中村専任教員参加

※総合相談部門閉室日
月～金 8:30～17:15

※総合相談部門閉室日
夏季一斉休業(R3.8.13～R3.8.15の間)
冬季一斉休業(R3.12.28～R4.1.3の間)

Ⅲ. アクセシビリティ支援部門

1. 利用状況

(1) 学生相談利用状況

学部別で見ると、相談人数・面談回数ともに「理工学部・工学部」が最も多く、次いで「総合科学部」が多かった。医学部で相談人数及び面談件数が倍増した。

また、障害種別で見ると、「発達障害」が最も多く相談件数の約83%を占めていた。アクセシビリティ支援部門での相談件数は年々増加傾向にある。

担当教員による定期的な面談を実施し、それぞれの学生の障害に起因する困難について、合理的配慮がなされるよう関係学部・関係部署・医療機関等と調整を行った。

■学部別

学 部	人 数	面談件数
総合科学部	7	46
理工学部・工学部	18	129
生物資源産業学部	2	23
医学部	5	37
歯学部	1	7
薬学部	2	13
その他(教員含む)	1	1
計	36	256

■障害種別

障害の内容	人 数	面接件数
視覚障害	0	0
聴覚・言語障害	0	0
肢体不自由	4	9
病弱・虚弱(内部障害等)	1	1
重 複	1	3
発達障害	21	212
精神障害	7	28
その他の障害	2	3
計	36	256

(2) 支援学生の育成

これまで、障がいをもつ学生を支援する支援学生(ピアサポーター)を育成するため、定期的にアクセシビリティ研究会を開催し、支援のための知識や方法の修得を促していたが、令和3年度は昨年度同様に新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を見送った。

また、平成28年度より、本学はアクセシビリティリーダー育成協議会に入会し、アクセシビリティリーダー1級及び2級の取得が可能となった。令和3年度には、累計で本学の1級取得者が9名(うち1名は試験に合格したが、認定要件を満たさなかったため未認定)、2級取得者は46名となっている。

2. 活動報告

令和2年度

月	対象者	行事	備考
4	学生	新入生(理工学部)オリエンテーション	
		新入生(総合科学部)オリエンテーション	
		新入生(生物資源産業学部)オリエンテーション	
7	学生	アクセシビリティリーダーオンライン講座受講申込 受付	アカウント配布 15名
8	学生	アクセシビリティリーダーオンライン講座・開講	
	学生	AL サマーキャンプ申込受付	学生申込者なし
	学生	アクセシビリティリーダー1級・2級受験申込	1級0名, 2級10名申込
9	学生	AL サマーキャンプ(オンライン)	学生参加者なし
12	学生	アクセシビリティリーダー1級・2級試験受験	
1	学生	アクセシビリティリーダー1級・2級合格者発表	2級8名合格
	学生	AL キャンプ申込受付	学生申込者なし
3	学生	AL 春キャンプ(オンライン)	学生参加者なし

IV. キャンパスライフ健康支援センター活動報告

月	業務
5	第1回キャンパスライフ健康支援センター会議
9	第2回キャンパスライフ健康支援センター会議
	第1回メンタルヘルスマーケティング
10	第3回キャンパスライフ健康支援センター会議
11	第4回キャンパスライフ健康支援センター会議
12	第5回キャンパスライフ健康支援センター会議
1	第6回キャンパスライフ健康支援センター会議
	第2回メンタルヘルスマーケティング
2	第1回キャンパスライフ健康支援センター運営委員会
	第7回キャンパスライフ健康支援センター会議

卷末言

令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、制限の多いキャンパスライフを送らざるを得ない一年となりました。令和3年には日本にもワクチンが導入され、6月からは本学においても大学拠点接種が行われ多くの教職員と学生にワクチン接種が行われました。キャンパスライフ健康支援センター保健管理部門においてこのような大規模な事業を効率よく速やかに進められたこと、ご協力いただいた関係者の皆様に深く感謝申し上げます。その後、国内でのワクチン接種は急速に進み、秋から冬にかけて新型コロナウイルス感染症はいったん収束に向かうかと思われましたが、新しい年が明け感染力の強いオミクロン株を中心とする感染が再拡大しました。厳しい受験生活を乗り越えて大学生になったのに、令和2年度に引き続き2年もの間、オンライン中心の授業、大学祭やスポーツ関連イベントをはじめ多くの行事が取りやめとなり、友達との出会いも少なく、大学生本来の喜びや楽しさを味わえないような状態が続きました。こうした大学生活の中ではコロナ前とは違った形で心身の健康に関する問題が生じており、キャンパスライフ健康支援センターにおいても新型コロナ感染症との共生に向けた環境整備としてオンラインやメールによる相談など新しい体制を確立してきました。新型コロナウイルス感染症の拡大は我々の生活に大きな変化をもたらしましたが、世界中で急速に研究が進んだことに加え、ウイルス自体も度重なる変異によりその性質が変化し、令和3年度は国や地方自治体のウイズコロナへの方向転換の兆しが見える中で年度末を迎えることとなりました。今後も情勢変化を慎重に注視して行く必要がありますが、引き続きキャンパスライフ健康支援センターでは健康管理、診療、相談、支援の連携を強め一丸となって全学教職員と学生のよりよいキャンパスライフの構築に寄与して参りたいと願っております。

令和4年9月

アクセシビリティ支援部門長 住谷さつき

令和3年度 キャンパスライフ健康支援センター年報

発行日 2022年9月

編集・発行 徳島大学キャンパスライフ健康支援センター

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地